



### 公共施設等 総合管理について問う

齊藤 貢一 議員



**質問** 館林市公共施設等総合管理計画では、公共施設等の維持管理の基本的方針が定められており、本市の将来的な財政推計における今後30年間の更新費用は建物系施設が1011億円、インフラ系施設が714億円、合計1725億円が見込まれます。この費用をど

の程度抑制しなければならぬと考えているのか。  
**答** 縮減に努めなければならぬ額と認識しており、個別施設計画策定を進める中で検討していきたい。  
**質問** 個別施設計画について、国では令和2年度までに策定するようになっています。大切なことは当市の

将来的な財政的投資がどのくらい可能かということだが、計画策定に当たっての進め方について伺います。  
**答** 現在、各施設の管理者から施設の状況や課題、今後の管理運営方針等の情報を集約し分析しているところですが、今後、縮減額については、個別施設計画の素案を検討する中で積み上げた実績値と、支出可能な投資的経費との比較を行いながら算出したいと考えています。

**質問** 各施設の用途変更や廃止、複合化、除却等は、個別計画の中で考えるとのことだが、地域の実情や市民ニーズを的確に把握し、全体像の中での個々の施設のあり方や活用など、有効な手段を講じていかなければならないが、どのように考えているのか。  
**答** 推進を図っていく上で、各地区で意見交換会を実施するなど、市民と情報共有を図っていきます。  
**質問** 教育委員会関係の施

設が全施設の45%を占める中、学校や公民館運営の見直し、認定こども園化など、課題も多いと思うが、どのように考えているのか。  
**答** 学校施設、公民館施設の利活用については、現状、課題を洗い直し、運用方法を研究しているところです。教育の質を高め、いく観点と効率化、市民の利便性を考慮し、複合化、統合、あるいは、認定こども園化も有効な手段の一つと考え検討研究していきます。



### 地域公共交通網形成計画、 未活用財産に対する取組について

松本 隆志 議員



**地域公共交通網形成計画**  
**質問** 人口減少等により、地方では公共交通が成り立たなくなる懸念がある中、地域での網形成計画を策定する背景やメリットについて伺います。  
**答** 公共交通は地域により課題や必要性、あり方が異なっており、地域の実情

に合わせた持続可能なネットワーク形成が必要です。計画策定過程で、公共交通機関の連携強化、まちづくりとの連携が期待できます。  
**質問** 1市4町による館林都市圏の計画策定に当たり、4町との連携でどのような課題があるのか伺います。  
**答** 共同運行している路

線バスは、限られた資源の中、面的な移動への配慮が行き届かなく、ダイヤ充実も難しい現状にあります。負担割合は、均等割と人口割で合意していますが、今後も共同事業として合理性維持に努めていきます。  
**要望** まちづくりの指針や高齢ドライバー安全対策にも大きな役割がありますので、住民生活に有益な計画となるよう要望いたします。  
**質問** 厳しい財政状況の中、

未活用財産の活用や歳入歳出における財政対策の取組について伺います。  
**答** 全ての既存事業に対し、継続、改善、統合、廃止等の評価を実施し、予算編成への活用のほか、ネーミングライツを導入し、新たな財源確保に努めています。  
**質問** 茂林寺沿岸用地は、約11年前に購入し、現在も未活用の状態であり、民間事業者との連携や進出も含め、市の収入に結びつくような活用方法を検討すべき

だと考えますが、取得の経緯や、なぜ今まで活用ができていないのか、伺います。  
**答** 茂林寺周辺の自然環境保全、乱開発回避、観光価値向上を目的に購入しました。過去の検討会等では、観光収益施設整備との意見が多く、多額の事業投資が必要になることから事業化の目処が立たない状況です。  
**要望** 財政が厳しいのですから、民間事業者の積極的誘致等、早期に取り組んでいただくことを要望します。